



ふれあい

2018
8月

発行:医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院 編集:広報委員会 〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地 TEL.048-996-1131/FAX.048-997-2135

座談会

膠原病・リウマチ・自己免疫の病気を考える



高橋倫代さん



竹之下拓 医師



金子誠治さん

竹之下 当院の広報企画にご協力いただき、誠にありがとうございました。

金子橋 私どもも楽しみにしてまいりました。

竹之下 金子さんは企業の要職にありながら地域の老人会の会長をおつとめになり、健康にご関心が高いと伺っています。また、高橋さんはラジオ体操連盟の役員として市民の健康維持のためにご活躍と伺っています。

金子 町会とともに定期的に健康に関する事業を行っており、私自身も学んだことをすぐ実践するよう努めています。総合物流企業の役員として現役で働いていますが、若いときと違って時々健康不安も出でますね。早めの対策と、ONとOFFの使い分けが大事かなと思っています。

高橋 私もロータリークラブやラジオ体操連盟でいろいろな方とお会いして改めて健康の大切さを実感しています。会合等に出る機会が多く生活リズムが不規則になりますが、睡眠・栄養・運動のバランスを心がけたいと思っています。

竹之下 お二人とも健康でいきいきとご活動されている様子がうかがえます。

金子 先生は神経内科、リウマチ・膠原病内科をご専門に

されているとのことですが、どのような患者さんが対象になるのでしょうか？

竹之下 神経内科は脳や脊髄、末梢神経、筋肉などの部位に生じる疾患を診察します。心療内科や精神科は主に精神的な疾患をみる科ですが、混同されることが多いので、学会では病院の診療科を「神経内科」から「脳神経内科」に変更するよう呼びかけています。

高橋 具体的にはどのような病気がありますか？

竹之下 脳卒中や頭痛、認知症、てんかん、神経変性疾患(脳や脊髄や神経などが徐々に機能しなくなる病気、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症など)脳や脊髄の





感染症(髄膜炎や脳炎など)神経免疫疾患(自分の免疫が自分を攻撃してしまう病気)など広い範囲をカバーしています。

金子 筋肉や関節の痛み、手足のしびれなどの症状があるとき、整形外科に受診したほうが良いのか、脳神経外科を受診したほうが良いのか、最初は内科にかかったほうが良いのか迷うのですが、そのような時に先生の外来にかかるメリットはありますか？

「症状はあるが検査では異常なしの場合は…」

竹之下 脳卒中に関しては脳神経外科、脊髄・末梢神経に関しては整形外科、認知症やてんかんに関しては精神神経科とオーバーラップしてくるので、横断的に俯瞰する力が必要とされます。痛い(関節、筋肉、全体)、しびれる、動きづらいなどの症状を突き止めるには科ごとに分けられた疾患の知識だけでは足りません。臓器ごとに説明がつかない病態でも広い視点で見ると原因が突き止められる場合があります。どの科にかかったら良いか分からない時、症状はあるのだけれども検査では何も異常がないと言われた時には受診するメリットがあると思います。



高橋 先生は神経内科以外にリウマチ・膠原病内科も診察されておられますか、どのような経緯で両分野を診るようになったのでしょうか？

竹之下 神経内科には神経免疫疾患という分野があり、重症筋無力症、多発性筋炎、多発性硬化症、ギラン・バ

レー症候群などの自己免疫疾患を診察します。この病気なので診てくださいと受診される患者さんは少ないので、症状の原因を探っているうちに純粋な神経免疫疾患以外に神経症状を最初の症状として発症した膠原病の患者さんを診ることもたくさんありました。膠原病は全身疾患のため、症状が関節痛だけ、しびれだけ、筋肉痛だけといったように一つの症状に限定されることはありません。そこで、神経免疫疾患、関節リウマチ、膠原病などを細分化することなく広く診られた方が、患者さんには有益だと考えました。これまで、日本臨床免疫学会認定・免疫療法認定医、日本リウマチ財団リウマチ登録医として関節リウマチに対するメトトレキサート(MTX)導入、関節リウマチに対する生物学的製剤導入、各種自己免疫疾患へのステロイドや免疫抑制剤の投与なども数多く経験してきました。

金子 お話の中で、自己免疫疾患という言葉が何度も出てきましたが、どのような意味ですか？

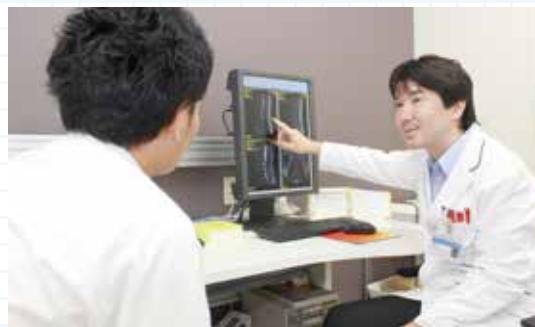


竹之下 「免疫」とは体の外側から侵入してくる病原体(細菌・真菌・ウイルスなど)を攻撃して身を守るしくみですが、自分自身の体を敵と誤って認識し、攻撃してしまうことで起こる病気を自己免疫疾患と呼びます。自己免疫が原因であるため、治療は免疫を抑える薬(ステロイド・免疫抑制薬・生物学的製剤など)が中心となります。

「リウマチは治る病気」

高橋 知り合いで、リウマチで関節が変形して、いろいろな生活動作が不自由になっている方がいます。

竹之下 関節リウマチは慢性的な関節炎により関節の骨や軟骨が破壊され、関節変形をきたした結果、日常生活



が不自由となる病気です。

関節リウマチについては、近年、メトトレキサートや生物学的製剤など、有効性の高い薬が現れ、関節の炎症を抑え、破壊を防止すること(病気の進行を止めること)が可能になりました。現在では多数の生物学的製剤が登場し、患者さんの背景によって最適と思われる製剤を選ぶことができるようになっています。関節リウマチは治らない、いずれ関節が変形してしまうという時代は終わりました。

関節リウマチの病気の勢いは発症後数年が最も強いといわれており、早期であるほど薬の効果が大きく、この時期に十分な治療を行うことが関節の破壊を防ぐ上で最も重要です。治療が順調にいった場合、途中から薬を止めても再燃がみられない期間が長く続く方もおられるため、早期発見、早期治療が非常に重要となります。

金子 最後に受診される方にメッセージはありますか?



プロフィール profile

金子 誠治(かねこ せいじ)さん

八潮市大曾根在住、
大曾根東長寿会会長、
株式会社拓洋・取締役副社長

高橋 偷代(たかはしみちよ)さん

八潮市木曽根在住、やしお健康ラジオ
体操連盟理事、八潮ロータリークラブ

竹之下 拓(たけのした ひらく)医師

専門分野: 神経内科、リウマチ膠原病内科
専門資格: 日本内科学会認定 内科医、日本
神経学会認定、神経内科専門医・
指導医、日本脳卒中学会認定、脳
卒中専門医、日本病院総合診療
医学会認定医、日本リウマチ財団
リウマチ登録医、日本臨床免疫学
会・免疫療法認定医

管理栄養士のメディカルレシピ

かじきの甘酢炒め

淡白な魚も、揚げて野菜やあんとからめることでボリューム満点の
おかずになります。お肉が好きな方も満足していただける思います。

■材料(1人分)

A	かじき	50g
濃い口しょうゆ		8g
砂糖		5g
酢		3g
片栗粉		3g

かじき	50g
キャベツ	40g
ピーマン	10g
たまねぎ	40g
にんじん	10g



■作り方

- ①かじきは一口大の削ぎ切りにして片栗粉をまぶして多めの油で炒め揚げにする。
- ②キャベツはざく切りにし、玉ねぎ、にんじん、ピーマンは食べやすい大きさに切る。
- ③フライパンに油を熱し、玉ねぎを炒め、残りの野菜も炒める。
- ④Aを合わせておいたものを一氣に入れ、煮立ったら①のかじきを入れ水溶き片栗粉を入れてとろみをつける。
- ⑤器にもって出来上がり!



管理栄養士のひとくちメモ

食欲がないときでも、甘酢ならさっぱりとしていて
食事が進みます。また、体が疲れたときこそ、たんぱく質、ビタミン、ミネラルを補給することで疲労回復につながります。



送迎バス時刻表

※日曜・祝日は運休いたします。

1号車

草加駅東口行き

八潮中央総合病院



正面玄関よりワゴン車、マイクロバスが運行。



草加駅 東口



送迎バスの発車時刻

八潮中央総合病院		草加駅		ケアセンター八潮(病院行き)	
		7:30	発	7:40	発
		7:45	発	7:55	発
		8:00	発	8:20	発
9:00	発	9:30	発	9:40	発
10:00	発	10:30	発	10:40	発
11:00	発	11:30	発	11:40	発
12:00	発	12:30	発	12:40	発
13:00	発	13:30	発	13:40	発
13:30	発	14:00	発	14:10	発
15:00	発	15:30	発	15:40	発
16:00	発	16:30	発	16:40	発
16:30	発	17:00	発	17:10	発
17:45	発	18:15	発	18:25	発
18:30	発	19:00	発	19:10	発
19:15	発	—		—	

※病院発草加駅行きのバスは、ケアセンター八潮経由となります。

※時刻表内の 青文字の発車時刻 の便は、
土曜日は運休いたします。

2号車

八潮駅北口行き

八潮中央総合病院



正面玄関よりワゴン車、マイクロバスが運行。



八潮駅 北口



フレスピ八潮サンマルクカフェ様前あたりに停車。

送迎バスの発車時刻

八潮中央総合病院			八潮駅	
8:05	発	↔	8:10	発
8:30	発	↔	8:35	発
8:40	発	↔	8:45	発
9:15	発	↔	9:20	発
10:15	発	↔	10:20	発
11:15	発	↔	11:20	発
12:45	発	↔	12:50	発
13:15	発	↔	13:20	発
14:15	発	↔	14:20	発
14:30	発	↔	14:35	発
14:45	発	↔	14:50	発
15:45	発	↔	15:50	発
16:15	発	↔	16:20	発
17:15	発	↔	17:20	発
17:45	発	↔	17:50	発
18:15	発	↔	18:20	発
18:50	発	↔	18:55	発
19:40	発	→	—	

健診センター直通電話番号 048-998-8001

病院理念

「地域から信頼される病院」

私たちは、以下の基本方針を遵守し、信頼される病院を目指します。

1. 安心・安全な医療の提供
2. 紹介患者・救急患者の積極的な受入れ
3. 総合病院としての機能と充実
4. 教育研修の向上と研鑽
5. 患者さまの人格を尊重した医療

基本方針

私たちは、以下の権利を尊重します。

1. 適切な医療を受ける権利
2. 人権とプライバシーが保護される権利
3. 医療情報の説明を受ける権利
4. 医療行為を選択する権利
5. 診療録の開示を求める権利
6. 他の医師に意見を求める権利(セカンドオピニオン)

患者さまの権利

八潮中央総合病院の概要

名称

医療法人 社団協友会 八潮中央総合病院

所在地

〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地

設立年月日

昭和48年3月24日

建物

鉄筋コンクリート造5階建・免震構造

認可病床数

250床(一般:150床・回復期リハ:50床・障害:50床)

診療科目

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、神経内科、緩和ケア内科、リウマチ・膠原病内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

診療時間

平日 9:00 ~ 13:00・14:00 ~ 17:30

〈受付時間〉 8:00 ~ 12:00・12:30 ~ 16:30

土曜日 9:00 ~ 13:00

〈受付時間〉 8:00 ~ 12:00

※日・祝日は休診。但し救急外来は24時間受付しております。



上尾中央医科グループ 医療法人 社団協友会

八潮中央総合病院

〒340-0814 埼玉県八潮市南川崎845番地

TEL 048-996-1131 FAX 048-997-2135

<http://www.yashio-cgh.jp>



日本医療機能評価機構認定